



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
124

令和5年 2月27日

令和4年度に行われた事業を紹介します。

パワフルAOMOR I ! 創造塾 ～青森を元気にする事業～



「パワフルAOMOR I ! 創造塾」は、地域を担う人財の育成とネットワーク形成を促進することで、青森を元気にすることをねらいとしています。今年度は、県内各地より集まった21名が参加しました。

7月から12月までの全6回の講座を開催し、講師による講義・演習を通して次のようなことを学びました。

- ・連携協働によりどのように地域をつくるのか
- ・地域活動に必要な条件整備とは何か
- ・オンラインをどのように活用すればよいのか
- ・「人を巻き込む」とは何なのか

また、地域活動を企画・運営する実践活動では、生涯学習フェアでピンゴゲームを開催したり、Instagramで青森のよさを紹介したりする過程を通して、塾生同士のネットワーク形成を図りました。

最後の「アクションプラン発表会」では、これまで学んだことやこれからしたいことなどの想いを、仲間に届けました。

今年度参加した塾生の感想

パワフルが毎月の楽しみでした！



パワフルAOMOR I ! 創造塾に参加できて最高でした。
卒塾するのがさみしいですが、これからパワフルで出会えた仲間とのつながりを大切にしながら、アクションプランを実践していきます。

入塾してよかったと心から思えました



地域のためにさまざまな活動をしている方がいると知ったこと、その方たちとつながれたことが一番の収穫でした。
大人になってからも夢をもてることを、パワフルの仲間に教えてもらいました。

青森県総合社会教育センター



〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <https://www.als.pref.aomori.lg.jp/>

地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム

令和4年10月28日（金）に「地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム」を、青森県総合社会教育センター大研修室にて開催しました。受講者数は、会場93名、オンライン7名、合わせて100名と、たくさんの方に参加していただきました。

①表彰式「あおもりキャリア教育応援企業」

学校への出前授業やインターンシップ受入等教育支援活動に熱心に取り組んでいる11の企業・事業所の皆様が表彰されました。



①表彰式

②情報提供「若者から『選ばれる青森』をめざして～青森県の課題と『YES! AOMORI』～」

青森県の高校生の現状・課題として県内就職率は58.7%（4年連続で全国最下位）などが挙げられ、県内定着プロモーションなどの取組について、県企画政策部地域活力振興課による発表がありました。



②情報提供

③講演「変化の激しい時代において、人の育ちに必要なものは何か」

株式会社「教育と探求社」代表取締役社長 宮地 勘司（みやじ かんじ）氏による講演では、全国320校、年間6万人の生徒が学校で実施している「クエストエデュケーション」は、「生徒が主体的・創造的に学ぶための学習プログラム」であり、「クエストカップ全国大会」での発表を目指して生徒たちが探究学習に取り組んでいる様子等、新たな学びを得ることができました。

今年度も、キャリア教育の在り方や大切さを改めて考えることができ、充実したフォーラムとなりました。



③講演

家庭教育支援「あおもり子育てネット」の紹介

家庭教育の不安や悩みに対する解決の糸口となる子育て情報を発信するため、家庭教育支援動画「あおもり子育てネット それいけ！育Tuber（イクチューバー）」を制作し、令和4年11月～令和5年1月にRAB青森放送で全6回を放送しました。

令和5年2月以降、ホームページやYouTubeにて公開していますので、ぜひご覧ください。



<テーマ>

- 第1話 マスクが子どもの発達に影響！？
- 第2話 子育てで悩んだときは？
- 第3話 ヤングケアラーの支援
- 第4話 お金の教育していますか？
- 第5話 ほめて育てるのススメ
- 第6話 幼児期からの性教育

また「あおもり子育てネット」のホームページでは、これまでに制作した家庭教育支援動画も多数公開しています。また、「すこやかほっとライン」では、子育てに関するお悩み等の相談を無料で受け付けていますので、電話（017-739-0101）、メールにてお気軽にご相談ください。

相談時間は、毎週（月・水・木）曜日（年末年始・祝日除く）13:00～16:00（※令和5年4月1日より13:00～15:00に変更となります）、相談メールはホームページから入力することができます。

詳しくは、「あおもり子育てネット」で検索をしてください。

あおもり子育てネット

ボランティア関係機関職員養成講座

この講座は、ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型のディスカッションを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指すことを目的としています。今年度の講座は、6月30日（第1回）と10月8日（第2回）に行いました。

第1回【講義】「地域に求められるこれからのボランティア～参加が生む無限大の創造力～」

認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事 あおやま おりえ 青山 織衣 氏

第1回の講座では、ボランティアの捉え方について再確認し、ボランティアの原動力が何かやコロナ禍での活動継続のヒントを学ぶことができました。また、パネルディスカッションでの実際のボランティア活動の取り組み紹介は、今後のボランティア活動について受講者がヒントを得ることができた内容でした。



第2回【講義】「気軽に始められるボランティアとは」

特例認定NPO法人SEEDS NETWORK 理事長 おおにし しょうこ 大西 晶子 氏

第2回の講座では、自分が無理をしないで取り組める活動、興味のある活動への参加がボランティアに繋がっていくということを学ぶことができました。また、事例発表者のボランティアを始めたきっかけを知ったり、実際に取り組んでいるボランティア活動の紹介を聞いたりすることで、「ボランティアをしてみよう」と思えるような内容の講座となりました。



高校生スキルアッププログラム推進事業



土曜日や日曜日、長期休業中に、学校外で実施されている様々な活動に進んで参加し、自らのスキルの向上を目指す高校生を応援するプログラムです。



高校生が参加できる各種活動情報を募集しています！

センターでは、高校生が参加可能な講座や講演会・ボランティア活動など情報を収集し、高校生へ情報提供しています。センターホームページよりダウンロードをクリック、「各種・活動情報送信票」をダウンロードして、メールかFAXでご送信下さい。



→ 問合せ：育成研修課 017-739-1253 FAX：017-739-1279
HP：<https://www.alis.aomori.lg.jp> メール：high-skillup@pref.aomori.lg.jp

ダウンロード
はこちら

VOL.12
特別編

魅力ある事業の実践紹介！

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター研修【第5回】より「私たちの取り組み」

このページでは、通例ですと県内の公民館等が実施している魅力ある事業を紹介していますが、今回は、当センター主催事業「生涯学習・社会教育関係職員研修講座」から、センター研修【第5回】「公民館事業を考える」の様子をお伝えします。

公民館は、社会教育推進の中核を担う貴重な施設でありながら、その取り巻く環境については、職員の配置や予算等、厳しさが増していく一方だとの声が聞こえます。そのような中、本研修の中では、社会教育関係職員に、各自治体で運営している社会教育施設の在り方を考える一助としてもらうため、全国的に高い評価を得ている4つの実践事例を紹介しています。

青森県からは、今別町中央公民館（令和3年度優良公民館受賞）にその特色ある取り組みについて発表していただくと共に、県外の公民館等からもその先駆的取り組みなどを発表していただきました。

今別町中央公民館（青森県）

今別町が捉える課題は、子育て世帯の孤立化があります。人口減少も顕著な当町としては、各町内会での子育て支援体制強化が必要と考えていました。

そこで、家庭教育支援として、子育てサロンの開催、家庭教育支援チームの設立などを行ってきました。また、学校支援として読み聞かせサークルや公民館講座と連携した活動や伝統芸能の指導に力を入れてきました。

その結果、子育て世代のネットワークが形成されたり、学校と地域が連携・協働し、子ども達を育てる意識を高めたりすることができました。

今後も、学校・地域・家庭、それぞれの輪をつなぐと共に、この3つの輪を広げていくようにします。

町田市教育委員会

生涯学習部生涯学習センター（東京都）

「町田市障がい者青年学級」は、障がいをもった方々を対象に、学校卒業後の集いの場として開設されたものです。学級生は、自分の興味のあるコース（音楽、スポーツ、演劇、料理、工作など）を選び、希望別に10名程度の集団を構成、1年間活動を共にします。

活動は、話し合いによる集団決定を大切にしていることから「自治」や、自らの生活を客観的に振り返ることによる「生活づくり」、またコース活動への思いから「文化の創造」が培われてきたと言えます。

今後も、障がいを越えた学び合いの場であること、思いや悩みを話し合い共有する場であることを大切に、活動を続けていきます。

福井市河合公民館（福井県）

河合地区は、旧農村地帯であるためか、これまでも多くの行事に積極的に取り組んできた団結力がある地区です。次は「心の豊かさを育む」ことを念頭に、地区住民が自身の意思を発揮できる場を設定したいと考えました。自主活動グループの大半が音楽に関するものであったことから、「音楽パワー」の中に何かがあるのでは？と確信しました。そして、公民館の運営の効率化も同時に考えた中から生まれたのが、年間を通して行う分散型文化祭「ほっとコンサート」です。

自由な形で行うことにより、住民の自主的な発表の場、クオリティの高い音楽を鑑賞する催しに少しずつ成長しました。音楽の楽しさはもちろん、チラシをつくったり、会場を屋外に設置したりすることからも、活力が生まれてきました。また、コロナ禍の中、この連絡のために活用したSNSが、住民とのコミュニケーション手段、防災のための緊急連絡配信に繋がり、まさに「活きた公民館をつくる」ことができました。

笠間市立笠間公民館（茨城県）

笠間市は、平成18年に笠間、友部、岩間の3市町が合併。旧市町ごとにある3つの公民館が合同で、令和2年度より開始したのが「かさま志民大学」です。

この事業は、人生100年時代において、市民の誰もが生涯にわたり学ぶことができる機会を提供することや、大学や研究機関の専門的な知識を学ぶこと、市民自らが地域のために活動する力を高めることを目的としたもので、歴史・文化コース、自然・環境コースなどの6つのコースから作られています。この他、「かさま子ども大学」「サマースクール」「かさま志民オンライン講座」等も実施しています。

今後も、あらゆる世代が利用できる公民館を目指すと共に、急速に変化するデジタル化社会への対応等を充実させていきます。



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、話を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。